

科目名	保健医療チーム特論 (Advanced of Health Care Team)			科目コード	M103
選択区分	必修	履修時期	1 後	単位数 (時間)	1単位 (15時間)
担当教員	豊田 ゆかり・脇坂 浩之・山岡 源治			関連DP	看①③④、医④⑥
授業概要	現在進められている多職種連携を基盤に、保健・医療・福祉機関で目指しているチーム医療の構造を理解するために役立つ理論理解を通じ、チーム医療を推進していくために必要な知識・統合して思考する方法を教授する。				
授業目標	保健医療福祉分野においてチーム医療が目指す姿を展望する。理論を通じた現状分析力を高め、課題解決の方策を探求する。さらにチーム医療を推進するためのリーダーとして活動できる能力を高める。				

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者
1	理論理解 1	チーム医療がめざす目標と関係理論 －マネジメント理論－	豊田ゆかり
2	理論理解 2	チーム医療を推進するための連携と協働 1 －ケアにおけるチーム医療のめざす方向と 理論による現状分析－	豊田ゆかり
3	理論活用 1	チーム医療を推進するための連携と協働 2 －診断・治療におけるチーム医療のめざす方向と 理論による現状分析－	脇坂浩之
4	理論活用 2	チーム医療を推進するための連携と協働 3 －正確な検査及び説明を行うためのチーム医療のめざす方向 と理論による現状分析－	山岡源治
5	理論活用 3	チーム医療の推進力育成 1 －地域包括ケアシステムの例から－	豊田ゆかり
6	演習 1	チーム医療の推進力育成 2 －チーム医療を必要とする課題に対する 解決策の立案及びディスカッション－	豊田ゆかり 脇坂浩之 山岡源治
7	演習 2	チーム医療の推進力育成 3 －フィールドワーク：立案した解決策を現場の関係者に提示し 活用可能性について検討してくる－	豊田ゆかり
8	演習 3	チーム医療の推進力育成 4 提案に対する評価及びチーム医療に対する 今後の課題のディスカッション	豊田ゆかり 脇坂浩之 山岡源治
成績評価方法		総括レポート (100%)	
必携あるいは 参考図書・文献		参考図書：埼玉県立大学：「IPW を学ぶ－利用者中心の保健医療福祉連携」、中央法規出版会、 松下博宜：「創造するリーダーシップとチーム医療」、日本医療企画、 福原麻希：「チーム医療を成功させる 10 か条－現場に学ぶチームメンバーの心得」、中山書店、 地域の包括的な医療に関する研究会：「多職種乗り入れ型のチーム医療－その現状と展望」、 へるす出版新書、 MARIJORIE M. GODFREY et al. : Coaching interprofessional health care improvement teams: the coachee, the coach and the leader perspectives, Journal of Nursing management, 2013, Jun20, 1-11. H. watanabe: 「Advanced Initiatives in Interprofessional Education in Japan－Japan Interprofessional Working and Education Network」, Springer, 京極真：「信念対立解明アプローチ入門－チーム医療・多職種連携の可能性をひらく」、中央法規出版会 陣田泰子：「チーム医療時代のレジリエンスマネジメント」、看護の科学社	
授業時間外の 学習について		各担当教員の授業時に説明する	
関連科目		204 理論と看護実践	
備 考			